

第1回「愛媛の保護者と教師の集い」 教育長あいさつ

平成 25 年 8 月 9 日 (金)
松山大学 223 教室

本日、多数の皆様をお迎えして、第1回「愛媛の保護者と教師の集い」を開催できますこと、心から御礼申し上げます。

御参会の皆様におかれましては、日頃より、県内各地において、それぞれのお立場から愛媛の子どもたちの健やかな成長のために御尽力をいただいております、改めて感謝いたします。

さて、次代を担う子どもの健やかな成長は、社会全体の願いではありますが、この子どもたちを支え育む主要な「場」である、学校・家庭・地域社会の3つは、それぞれに大きな課題に直面しております。

学校教育においては、いじめ・不登校が依然大きな問題となっており、教員の多忙化なども課題となる中で、学力向上やキャリア教育・体験学習の推進等、重点的に推進していくべき課題も山積しております。

また、家庭教育においては、核家族化等が進行する中で、相談相手がなく社会的に孤立化する保護者が増加するなど、国の「家庭教育支援の推進に関する検討委員会」の報告で指摘された「家庭教育が困難になっている社会」が現実のものとなってきております。

さらに、地域社会に目を向けますと、都市化等の社会環境の大きな変化は、地域のつながりを希薄化させ、地域で子どもたちを育む風土が急激に失われてきています。

このため、愛媛県教育委員会におきましては、子どもたちの健全育成のためには、学校・家庭・地域のそれぞれの教育力を高め、協働・連携して取り組むことが重要であるとの認識のもと、今年度の教育基本方針の第1に「社会総がかりで取り組む教育の推進」を掲げ各種施策に取り組んでいるところであり、本日の「集い」は、その一環として、幼少期から青年期までの子どもたちの成長に関わるすべての方々に御参集いただき、子どもたちの成長段階に応じた切れ目のない教育支援について、その具体化のためのよりよい方向性を見出す契機となることを願って実施するものです。

内容といたしましては、記念講演、6つの個別テーマによる分科会での事例研究、そして有識者によるシンポジウムを行うこととしております。

皆様方におかれましては、さまざまな視点から活発な御協議をいただき、実りある一日となりますよう御理解と御協力をお願いいたします。

終わりに、本日御参会の皆様の御健勝、御活躍を心からお祈り申しあげ、主催者としての御挨拶とさせていただきます。